

## 保護者の願い

本日は、国会議員の先生方には、お忙しい中ご臨席を賜り、本当にありがとうございます。日頃、私学教育の振興発展にお力添えを頂戴し改めて感謝申し上げます。

現在、国による様々な政策により、社会の各方面で明るい兆しが見えつつありますが、そのような中であって、私たち保護者が願うことは、子どもたちが立派に成長し、これからの社会でそれぞれの役割を担ってくれることです。子どもたちを育てるのは、まずは私たち保護者の責任ではありますが、それぞれの能力や希望に応じて、自ら選択した学校で教育が受けられるよう学習環境を整備するのは、最終的には保護者と国の責任だと考えています。

保護者としてはまず、子どもたちが安全・安心な学校生活を送れるよう、例えば、私立学校の耐震化・備蓄等防災対策についても、全額税金で措置されている国公立学校と区別なく早急な対応をお願いしたいということです。

平成二十二年度から実施された「高等学校就学支援金」制度は、現在、制度の全面的見直しにより、限られた財源の中で私立高等学校に学ぶ生徒の授業料負担が適切に軽減される方向で改善されつつありますが、それでもなお、公立高校生と比較すると格差は大きく、また、私立高等学校間でも各都道府県間での様々な上乘せ支援によって、新たな格差を生じている現状もあります。

私たち保護者は、私学の建学の精神に基づく特色ある教育方針に賛同し、様々な選択肢の中から子どもたちに良かれと考え、私学に学ばせているのであり、決して経済的にゆとりがある家庭ばかりではありません。家庭の経済状況により子どもたちの自由な学校選択が妨げられることのないよう、そして、より良い教育を受けられるよう、学校に対する私学助成についても、これまで以上の予算額が確保されることが、私立学校に学ぶ子どもたちの学習環境を整備する上で、必要不可欠なことと考えています。

つきましては、このような私立学校保護者の学費負担のさらなる軽減と子どもたちの教育環境の一層の改善のため、関連の政府予算がさらに充実されるよう、ご臨席の国会議員の先生方のご指導とお力添えを切望いたします。

平成25年12月3日

私学振興全国大会 保護者代表  
愛媛県私立中学高等学校保護者会 山本 紫